



2021年3月期 決算説明資料

林兼産業株式会社

2021年5月14日

2021年3月期実績	
連結損益計算書の概要	・・・ 2
セグメント別の売上高・営業利益	・・・ 3
貸借対照表の概要	・・・ 4
キャッシュ・フロー計算書の概要	・・・ 5
業績の推移	・・・ 6
四半期連結業績の推移	・・・ 7
セグメントの状況	・・・ 8-13
連結損益計算書	・・・ 14
「新中期経営計画〈挑戦〉challenge2022」の取組み	・・・ 15
売上高・利益計画	・・・ 16
配当の状況	・・・ 17

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	45,175	44,366	▲808	45,000	▲633
営業利益	988	615	▲373	620	▲4
経常利益	1,288	848	▲440	750	98
親会社株主に帰属 する当期純利益	874	1,291	417	1,350	▲58

前期との主な変動要因

売上高	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から巣ごもり需要が高まり調理食品の販売数量が増加したものの、 外食産業・ホテル向けの業務用食肉加工品の販売数量が減少したことや、養殖魚の需要低迷に伴い養魚 用飼料の販売数量が減少したことにより減収
営業利益	業務用食肉加工品や養魚用飼料の販売数量減少などにより減益
経常利益	営業利益の減少や営業外収支の影響により減益
親会社株主に帰属 する当期純利益	賃貸用不動産(大阪市港区)の売却益もあり7期連続の増益

セグメント別の売上高・営業利益



(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期			
		実績	前年増減	当初計画	当初計画増減
売上高	45,175	44,366	▲ 808	45,000	▲ 633
水産・機能食品事業	4,934	4,828	▲ 106	5,400	▲ 571
畜産食品事業	19,588	19,613	25	20,400	▲ 786
飼料事業	18,111	17,622	▲ 488	17,000	622
その他の事業	2,541	2,301	▲ 239	2,200	101
営業利益	988	615	▲ 373	620	▲ 4
水産・機能食品事業	220	252	31	270	▲ 17
畜産食品事業	351	104	▲ 247	450	▲ 345
飼料事業	1,116	909	▲ 206	730	179
その他の事業	253	261	8	110	151
消去又は全社	▲ 953	▲ 912	40	▲ 940	27

貸借対照表の概要



(単位:百万円)

	2020年3月期末	2021年3月期末	
			前年増減
流動資産	14,448	13,633	▲815
固定資産	15,234	15,028	▲206
資産合計	29,683	28,661	▲1,021
流動負債	14,099	12,150	▲1,948
固定負債	6,982	6,271	▲710
負債合計	21,081	18,422	▲2,659
純資産合計	8,601	10,239	1,637
負債純資産合計	29,683	28,661	▲1,021

キャッシュ・フロー計算書の概要



(単位:百万円)

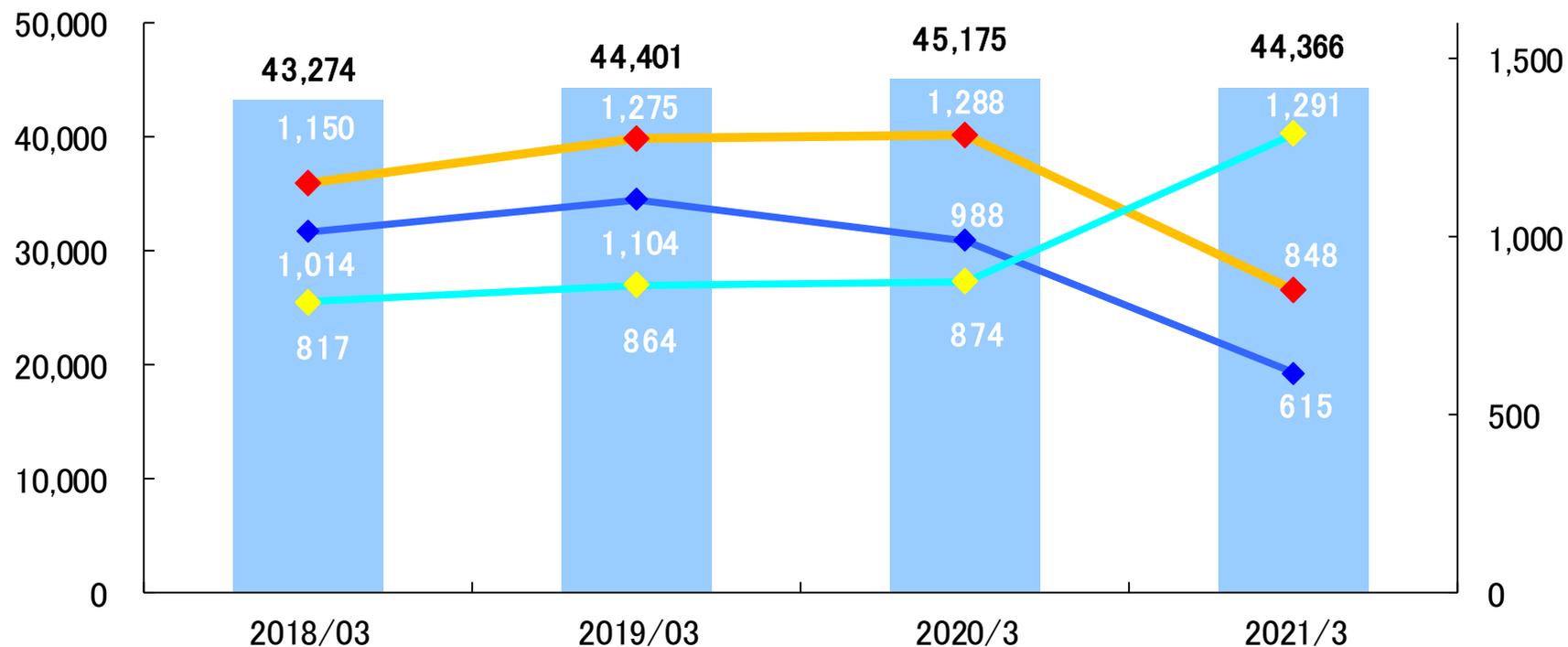
	2020年3月期	2021年3月期	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	115	3,280	3,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲819	47	866
フリー・キャッシュ・フロー	▲704	3,327	4,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	27	▲2,904	▲2,932
現金及び現金同等物の増減額	▲677	424	1,101
現金及び現金同等物の期首残高	2,229	1,551	▲677
現金及び現金同等物の期末残高	1,551	1,976	424

業績の推移

■ 売上高(左軸)
 ◆ 営業利益(右軸)
 ◆ 経常利益(右軸)
 ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益(右軸)

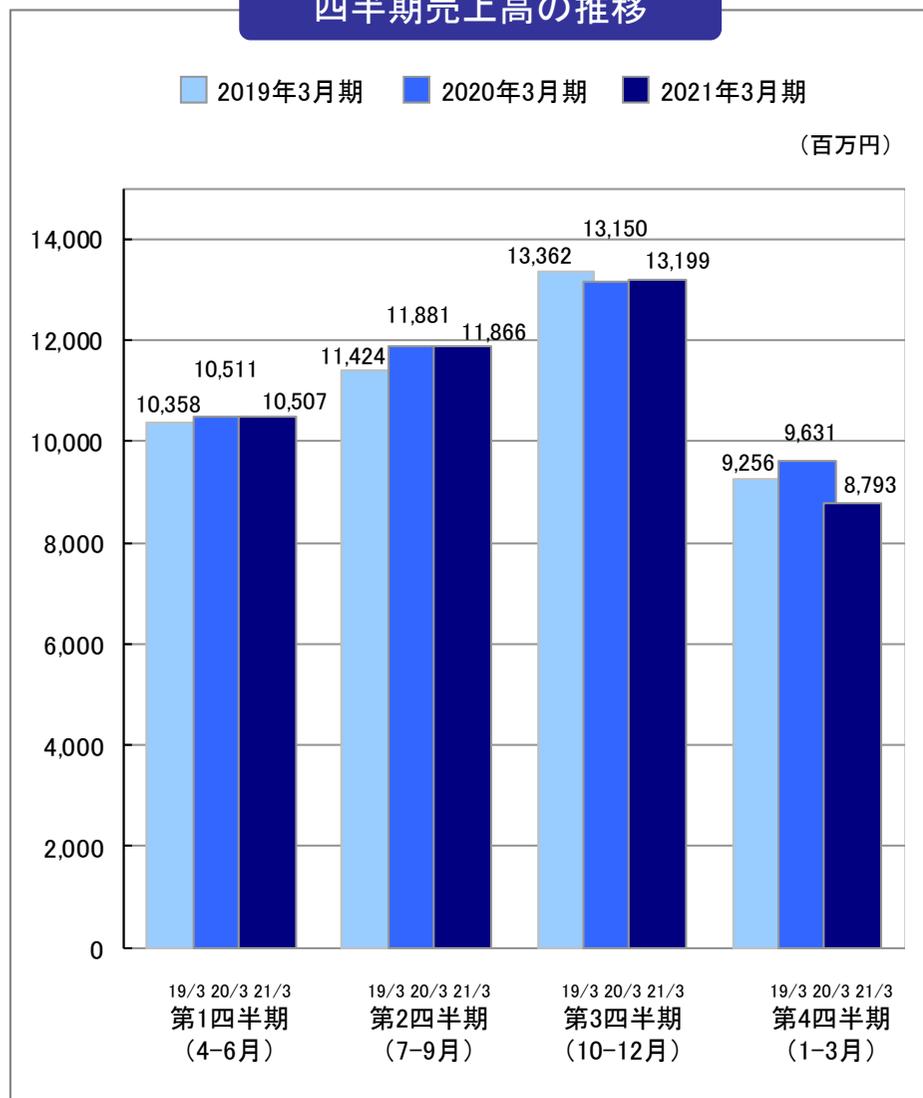
(単位:百万円)

(単位:百万円)

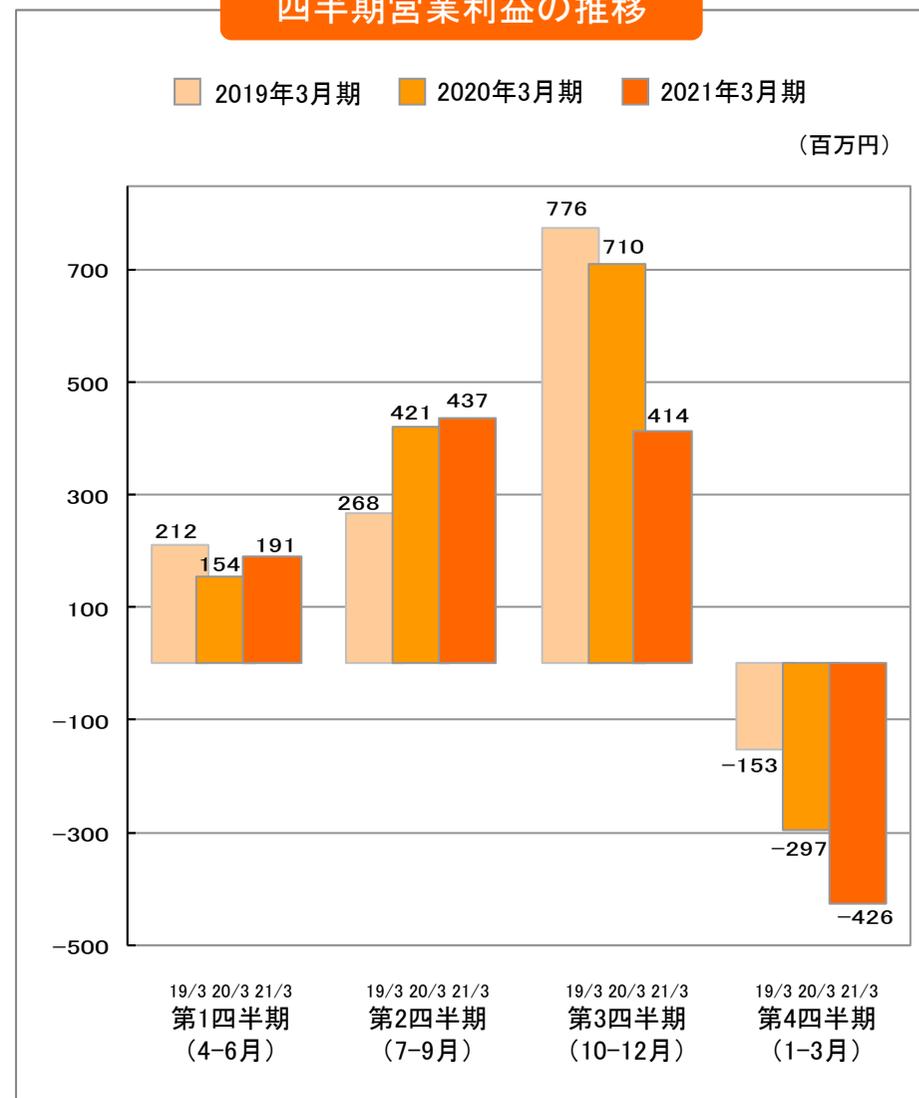


四半期連結業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

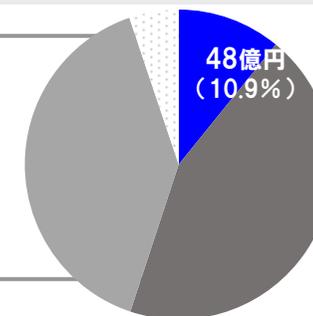


セグメントの状況（水産・機能食品事業）

概況：魚肉ねり製品の中国向け輸出減少により減収、販売費の減少により増益

水産・機能食品事業

売上高 **48億28百万円**（前期比 2.2%減）
 営業利益 **2億52百万円**（前期比 14.3%増）

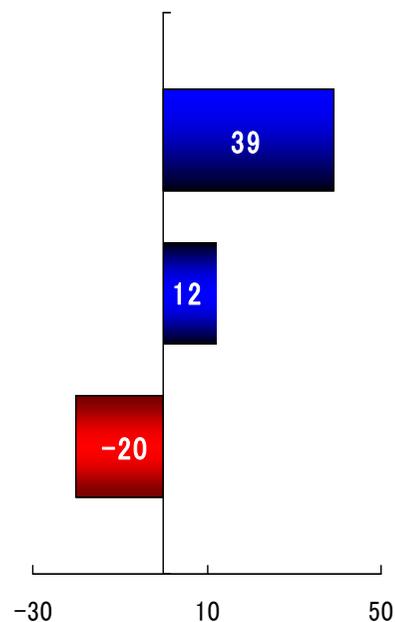


営業利益の増減要因

営業利益の増加 **31百万円**

魚肉ねり製品国内販売数量推移

（単位：百万円）

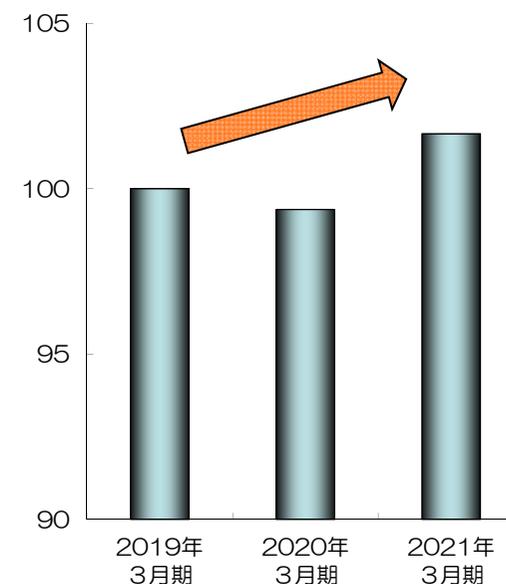


固定費の減少

魚肉ねり製品の国内販売数量増加や
価格改定

魚肉ねり製品の中国向け輸出減少

（2019年3月期を100とする）



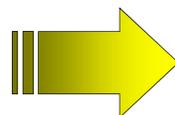
セグメントの進捗状況（水産・機能食品事業）

水産・機能食品事業

施策

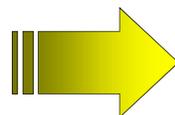
状況

家庭用加工食品の強化



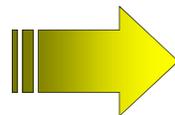
- ・ 魚肉ねり製品販売数量：国内向け（前期比 2.4%増）
海外向け（前期比11.6%減）

業務用加工食品の強化



- ・ 介護食：ソフトクレープ販売数量増加（前期比 8.0%増）

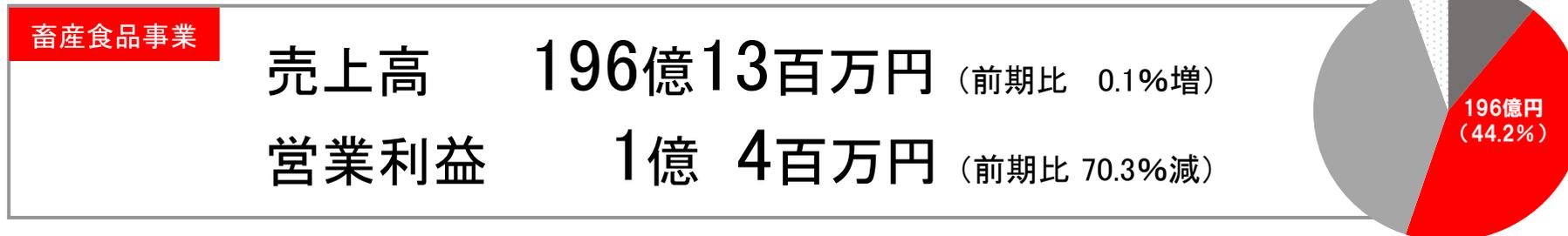
機能性素材の拡大



- ・ エラスチン販売数量減少（前期比 17.7%減）
- ・ ヒシエキス販売数量増加（前期比 1.5%増）
- ・ アスコフィラン販売数量増加（前期比 244.0%増）

セグメントの状況（畜産食品事業）

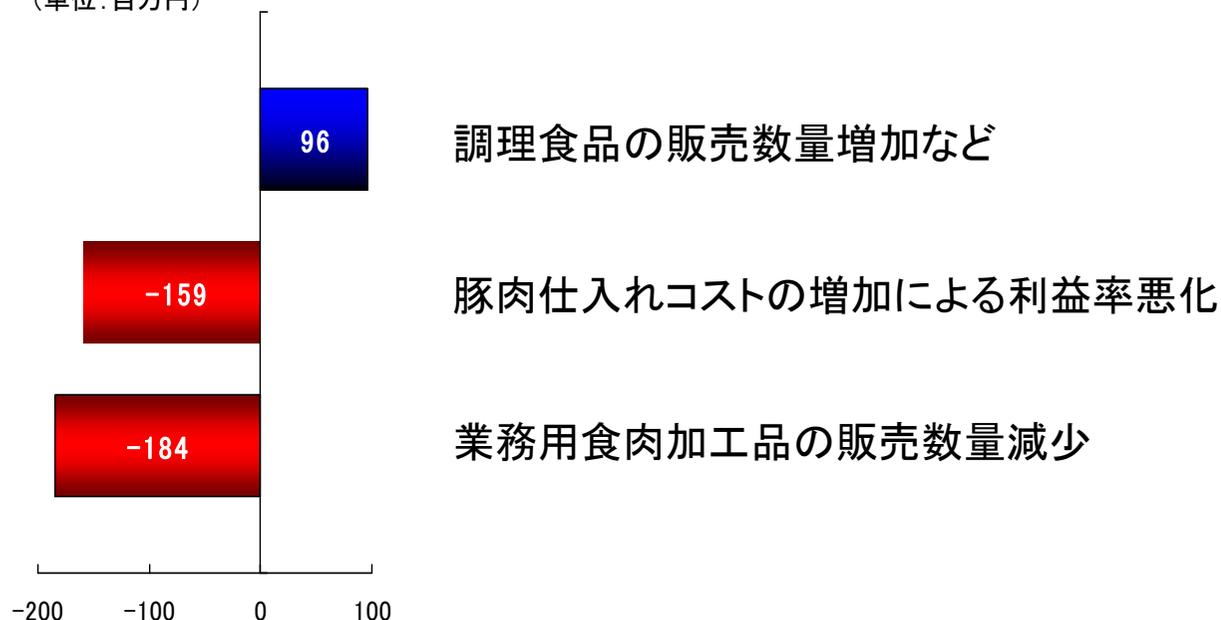
概況：調理食品の販売数量増加などにより増収、業務用食肉加工品の販売数量減少により減益



営業利益の増減要因

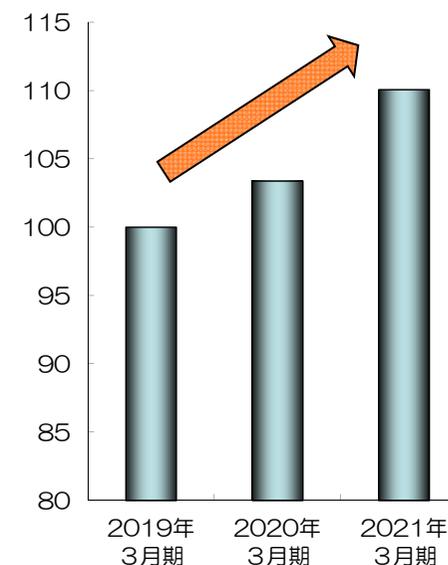
営業利益の減少 2億47百万円

（単位：百万円）



調理食品の販売数量推移

（2019年3月期を100とする）



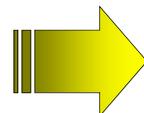
セグメントの進捗状況（畜産食品事業）

畜産食品事業

施策

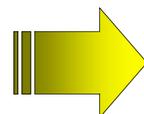
状況

食肉供給体制の最適化



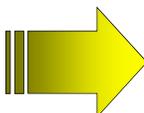
- ・ 国産豚の仕入れと販売の見直し

食肉・加工品販売の強化と一体化



- ・ 調理食品(レトルト商品)の販売数量増加
(前期比 37.1%増)
- ・ 大手量販店向け牛肉の販売数量増加
(前期比 9.4%増)

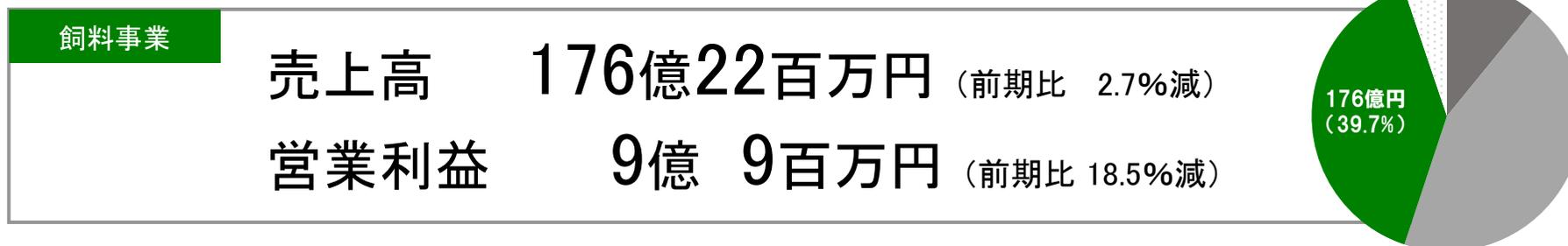
生産体制再編による効率化



- ・ 生産品目の整理と最適生産工場の再編
- ・ 市場のニーズに合ったミートパックの販売

セグメントの状況（飼料事業）

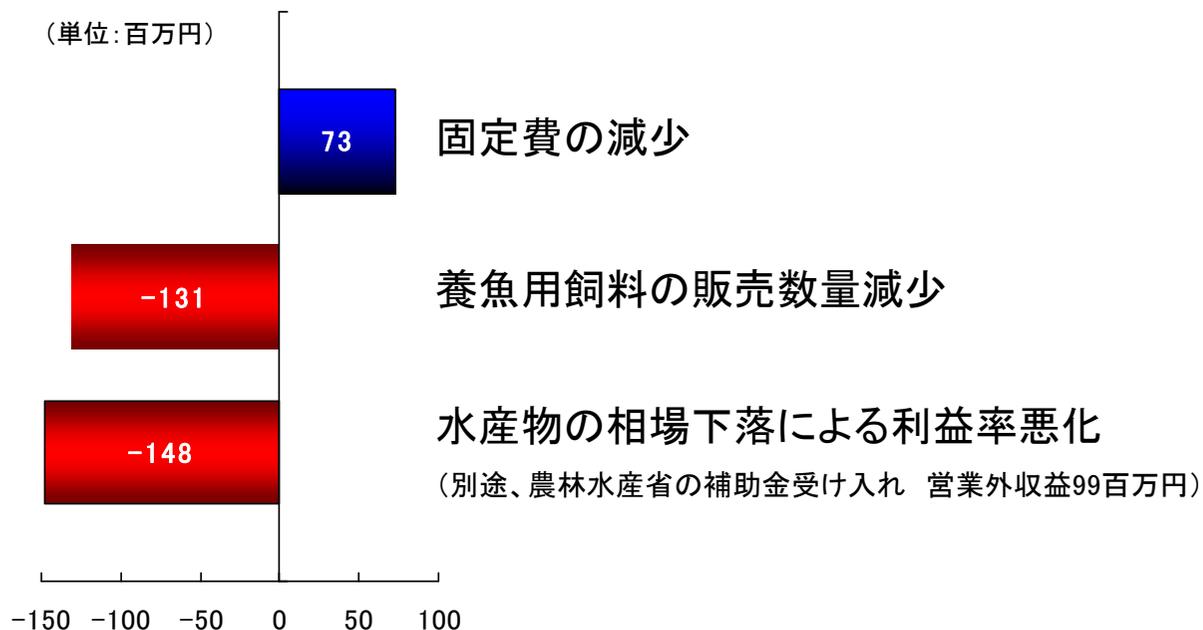
概況：養魚用飼料の販売数量減少により減収減益



営業利益の増減要因

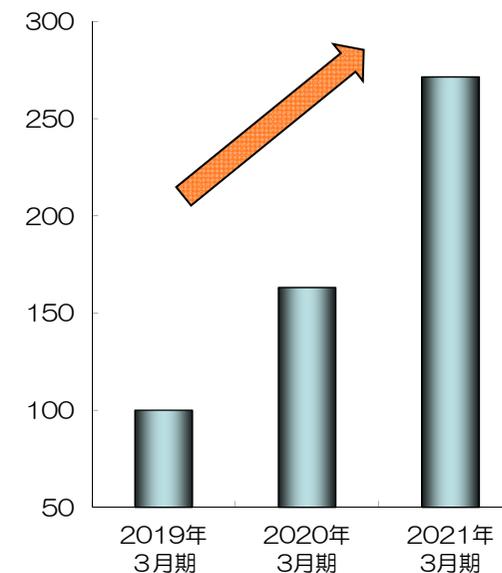
営業利益の減少 2億6百万円

（単位：百万円）



養魚用飼料輸出数量推移

（2019年3月期を100とする）



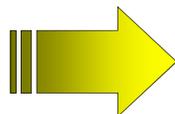
セグメントの進捗状況（飼料事業）

飼料事業

施策

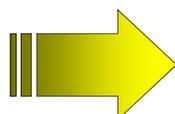
状況

養魚用飼料の差別化販売



- ・大手ブリ養殖業者と連携、肉質改善を目指した飼料を販売
- ・海外輸出対象国と数量の拡大（前期比 66.5%増）
- ・マグロ用配合飼料の販売拡大（前期比 48.5%増）

高品質畜産物生産に特化した畜産飼料の販売



- ・甘味・旨味を向上させる高品質黒豚用飼料を開発中
- ・霧島黒豚の発育および肉質改善飼料の開発中

連結損益計算書



(単位: 百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	45,175	100.0%	44,366	100.0%	▲808		
売上原価	37,896	83.9%	37,700	85.0%	▲195		
販売費及び一般管理費	6,290	13.9%	6,049	13.6%	▲240	▲0.3%	
営業利益	988	2.2%	615	1.4%	▲373	▲0.8%	
受取配当金	73		78		5		
その他	397		295		▲101		(百万円)
営業外収益合計	470		373		▲96		営業外収益 ▲96
支払利息	149		128		▲21		営業外費用 ▲28
その他	20		13		▲7		差引 ▲67
営業外費用合計	170		141		▲28		
経常利益	1,288	2.9%	848	1.9%	▲440	▲0.9%	
特別利益合計	86		840		754		賃貸用不動産売却益 781
特別損失合計	341		404		63		
税金等調整前当期純利益	1,034		1,284		249		
法人税等合計	90		▲84		▲174		
非支配株主に帰属する当期純利益	69		77		7		
親会社株主に帰属する当期純利益	874	1.9%	1,291	2.9%	417	1.0%	

事業戦略

事業環境の変化を捉えた事業戦略と事業基盤の確立

成長投資の推進

成長事業の規模拡大、増産対応、収益基盤の確立が見込めるものへの集中投資

事業ポートフォリオ

従来の体制にこだわらず、事業環境の変化を捉えた選択と集中によるポートフォリオの最適化

財務健全性

有利子負債や在庫の圧縮を進めつつ、成長投資を推進。
自己資本比率、D/Eレシオの改善を図る
自己資本比率：30%以上 (2021年3月期 32.5%)
ネットD/Eレシオ：1.0以下 (2021年3月期 0.95)

コーポレート・ガバナンス

透明性・公正性を担保しつつ迅速・果敢な意思決定を行う仕組みの充実に努め、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指す

売上高・利益計画



(単位:百万円)

	2020年3月期実績	2021年3月期実績	2022年3月期計画
売上高	45,175	44,366	42,500
機能・食品事業	24,522	24,442	23,000
旧)水産・機能食品事業	4,934	4,828	—
旧)畜産食品事業	19,588	19,613	—
飼料事業	18,111	17,622	17,500
その他の事業	2,541	2,301	2,000
営業利益	988	615	610
機能・食品事業	572	356	570
旧)水産・機能食品事業	220	252	—
旧)畜産食品事業	351	104	—
飼料事業	1,116	909	830
その他の事業	253	261	150
消去又は全社	▲953	▲912	▲940
経常利益	1,288	848	750
親会社株主に帰属する 当期純利益	874	1,291	470

(注)2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の計画は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	15.00	15.00	133	15.3	1.7
2021年3月期	—	—	—	15.00	15.00	132	10.3	1.6
2022年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00		28.1	

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先 林兼産業株式会社 総務部 TEL 083-266-0210
IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>